

「民族共生の象徴となる空間」整備による白老町活性化推進会議

第 1 回幹事会

平成 27 年 7 月 30 日 (木)

9 : 00 ~ 10 : 00

役場第 2 会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

(1) 現在までの取組み経過について ※資料 1

(2) 今後の取組みについて ※資料 2

- ・ 先進地視察研修
- ・ 「推進プラン」策定

(3) 象徴空間周辺環境整備に関する国との調整について ※資料 3

(4) 部会報告 ※資料 4

4 閉 会

平成27年度「民族共生の象徴となる空間」整備による 白老町活性化推進会議 幹事会 議事録

日 時 平成27年7月30日（月）9時から10時まで

場 所 白老町役場 第2会議室

出席者 幹事：16名 事務局(部会)担当者：4名(1名重複)

議事

(1) 現在までの取組み経過について

(事務局)

- 7月14日に検討会議の合同部会ということで、4部会の皆さんに集まっていただき、今年の事業計画の一番のメインである推進プランの検討をおこなった。

(資料1「事業経過報告」に添って説明)

- 全体会の位置づけとして昨日合同学習会を開催した。理事会と幹事会については本日実施する。理事会は幹事会が終わった後、午後から実施する。事務局の動きだが今まで4回の会議を実施している。第1回目は取組方針を進めている。各専門部会については6月5日の学習部会を皮切りに各部会とも取組みをしている。議会は4月15日に調査特別委員会で国、町の経過とその予定について報告している。6月29日に活性化会議の重点事業である推進プランを策定のための委託業務の公募を行った。3社から提案があり選定委員による採点の結果最高得点のJTB総研が最適の提案者として7月1日付で契約を締結した。7月1日以降の会議と運営支援に力添えをもらう。本日、JTB総合研究所の第1研究員篠崎様、吉田様が出席されておりますので、紹介します。

(2) 今後の取組みについて

(資料2「今後の取組について」に添って説明)

(資料4「部会報告」に添って説明。部会について。各部会の取組報告)

(教育部会)

- 先進地視察は阿寒・知床中心に日程を組み立てている。

(活性化部会)

- 具体的な取組について今後決めて行く。先進地視察は候補地が定まっていない。

(情報部会)

- 他の部会よりも具体的な内容が決まっている。スピード感が必要であり、チラシ、ポスター、ホームページ、ソーシャルネットワークといったものを活用してPRしていきたい。

(基盤整備部会)

- 先進地視察の候補地は阿寒、富良野、富良野マルシェ等あがっている。象徴空間の環境整備、イメージ図、3案を検討してもらう。

(3) 象徴空間周辺環境整備に関する国との調整について

(事務局)

- これまで同様アイヌ施策推進室が中心に進める。活性化に関することは企画が中心になって進めている。庁内人事により6月から遠藤室長になった。

(資料3「象徴空間周辺整備に関する国との調整について」に添って説明)

- 公園の基本計画策定は予定よりも遅れている。
- 象徴空間ゾーニング3案について説明。

(幹事)

- 町民の家の前を通るが、了解は得ているのか。

(事務局)

- 当事者には1年前からこのような計画があることを伝えてある。28日に内閣府の担当と私が今後具体的にこのような計画が進んで行くので是非協力していただきたいということで説明して前向きな回答をいただいた。

(幹事)

- 国がやろうとしているエリアの境界はどのようなイメージなのか。植栽で中に入れないようにするのか、あるいは塀を回すのか。

(事務局)

- その点は未定である。役場としては無料区域に関しては誰でも自由には入れる形で問題ないと思う。有料区域、特にチセを建てている場所については防犯上夜間立ち入りできないように塀を回していただくことが必要ではないかと考えている。

(幹事)

- チセのイメージはどうなっているのか、白老のイメージとして山のコタンを再現するか、海のコタンを再現するか。体験交流施設とチセは、きちっと分けて本来のアイヌの文化を体験できるというように本物に近い施設にしていかなければリピーターは増えて行かないとおもう。体験交流施設は現代風の建物と思うが、チセはどの時代かしっかりイメージした形で位置付けしてゆくことで、より本物に近いアイヌ文化を体験出来ると思う。そのためには明確な境界を設けた方が良いと思うが、そこまで考えているのか。

(事務局)

- 体験交流施設から見たチセの目隠しという事か。公園事業も国の方が最終的に判断するところで基本計画の策定委員会が設置され、町理事者も入り、アイヌ博物館の館長も入っているので、委員会の中で地元の意見も反映していただく形になる。国の方ではまだ何も考えていないというのが現状である。チセ群については昔のコタンを再現するという認識だと思う。

(幹事)

- 昔のコタンを再現するというなら、そこに関しては、イメージをしっかりと作って行かなければ今の二の舞になる恐れがある。今の博物館との擦り合せが大事であるからそこは守ってほしい。より本物に近い、異空間を感じられるようなものをつくるよう東京ディズニーランドの創成期に関わった堀貞一郎さんからアドバイスを受けたので是非譲らずにいてほしい。温泉施設の位置は今と同じ場所なのか。

(事務局)

- 当初考えていたのは湖畔の反対側の今のイベント広場から昔のコタンを見る形で、行ってみたいと思わせる仕掛けが必要ではないかという話はよく聞いている。体験交流施設から見たチセ群についてはまだ想定されていないと思う。今の意見を踏まえ活性化会議や理事者と相談していきたい。

(幹事)

- 温泉施設の位置は今と同じ場所なのか。

(事務局)

- 温泉施設は今よりもより泉源に近い所になる

(幹事)

- 町有地および振興公社所有の土地の購入については是非強く国に言ってほしい。また、温泉施設の移転に当たっては、毎年町民が何万人も利用している施設なので、補償金はもらえないか交渉が出来るのであればやって欲しい。

(幹事)

- 現在の駐車場の面積とどの位の差があるのか。今の広さだと修学旅行生が来ると駐車場が少し足りない。

(事務局)

- 町としては年間 100 万人という目標値を持っている。それに合わせて国が整備してくれるかどうかで変わる。今の駐車場は 6,000 平米ある。バス 17 台、普通乗用車が 17 台止められる。細長くなっているので実際はもう少し止められるのかと思う。国立博物館はバス待機場を別の場所に用意してエントランスで乗り降りさせるので、象徴空間駐車場は普通乗用車のみの駐車場が良いだろうと考えている。1 台 25 平米から 30 平米必要なので、200 台、300 台は止められる。滞在時間が 2 時間～3 時間なので 1 日 8 時間で 2 回半から 3 回くらいの回転。1 日約 500 台から 600 台停める駐車場である。約 3 人乗って来ると想定して年間 50 万から 60 万人の計算になる。オープン時や特に込み合う時には、空いている町有地を臨時駐車場にする。通常の有料駐車場は 6,000 平米で十分と考えている。

(幹事)

- 過去、博物館の一番多い時で 1 日 8,000 人入っていた。ピーク時で、月 15 万～16 万台位入っていた。平均すると 1 日 5,000 人か 6,000 人、多い時で 7,000 人、8,000 という事もある。そうなった時に、今言った場所だけでは足りなくなる可能性もある。そういう事も想定されるので駐車場は確保しておくよう考えておく必要がある。当時は見る所もあまりなく 1 時間程だったので何とかあったが、今度は 1 時間という事はないだろう。

(事務局)

- 旧町営球場が町有地なので、そこを臨時駐車場にするという想定もしている。常設の駐車場は広すぎない規模でということである。

(幹事)

- バスの数もかなり多くなるので、エントランスで乗り降りする方法もロータリー式にするなど考えておかなければならない。

(幹事)

- 出入りロゲートの設置場所について、JRの駅裏からのゲートも設置して欲しい。

(幹事)

- アイヌの事に関しては白老町、アイヌ協会、博物館など全面にでる窓口の使い分けをしっかりとやって、白老町の費用負担が少ないようなやり方にしてほしい。

(事務局)

- 本年度第1回目の幹事会を終了する。

資料 1

平成 27 年度 事業経過報告

月 日	事業内容	補足説明
【全体】		
4 月 20 日 (月)	白老町活性化推進会議総会	H26 事業報告、H27 事業計画 活性化基本構想策定
7 月 29 日 (水)	合同学習会	まちづくりの運営手法について
【理事会】		
7 月 30 日 (木)	第 1 回理事会	今後の取組み、国との調整について
【幹事会】		
7 月 30 日 (木)	第 1 回幹事会	今後の取組み、国との調整について
【事務局】		
4 月 27 日 (月)	第 1 回事務局会議	平成 27 年度の取組み方針の確認
5 月 15 日 (金)	第 2 回事務局会議	作業スケジュール、運営手法
5 月 25 日 (月)	第 3 回事務局会議	新・地域再生マネージャー事業
7 月 13 日 (月)	第 4 回事務局会議	4 部会合同会議に係る打ち合わせ
【専門部会】		
6 月 5 日 (金)	教育学習部会	組織構成、今年度の取組みについて
6 月 16 日 (火)	情報専門部会	組織構成、今年度の取組みについて
6 月 30 日 (火)	活性化専門部会	組織構成、今年度の取組みについて
7 月 14 日 (火)	4 部会合同会議	今後の取組み、国との調整について
7 月 23 日 (木)	基盤整備部会	今後の取組みについて
【議会】		
4 月 15 日 (水)	調査特別委員会	国・町の経過と予定

6 月 29 日 (月)	<p>「象徴空間活性化推進プラン調査・策定委託業務」に係る審査会を実施 ・プロポーザル方式で進め、3 者からの提案を得る。 ・選定委員会による採点の結果、最高得点者の(株) J T B 総合研究所を最適提案者とし、契約に係る協議を進めることとした。</p> <p>【委託業者】 住 所：東京都千代田区鍛冶町二丁目 6 番 2 号 業者名：株式会社 J T B 総合研究所 契約締結日：7 月 1 日</p>
--------------	--

今後の取組みについて

1 先進地視察

- ・各部会にて視察先を検討し9月までに実施する。

A班 情報・教育部会

B班 活性・基盤部会

2 「推進プラン」策定

STEP1 具体的な取組みの検討 8月中

①施策ツリーの作成（たたき台）

②JTB総合研究所からのアドバイスをいただきながら進行

STEP2 議会調査特別委員会 8月ごろ

・「推進プラン」策定に係る進捗状況の報告

STEP3 具体的な取組みの検討（H28年度予算要望のための）

①施策ツリーの具体事業の順位付け

②経費積算

STEP4 平成28年度事業費要望 10月中

STEP5 案の最終検討

STEP6 案の完成

STEP7 パブコメの実施 2月

「民族共生の象徴となる空間」整備事業の推進について

昨年6月、アイヌ施策推進会議を経て、「象徴空間整備管理運営基本方針」が閣議決定されるなど、「アイヌ政策を推進する議員の会」の皆さまの御尽力と感謝を申し上げます。

現在、白老町では、先住民族アイヌの文化振興・発展の拠点となる「民族共生の象徴となる空間」の整備について、国へ具体化に向けた検討をお願いしているところであります。

つきましては、

- 1 施設名称の早期決定
- 2 アイヌ古式舞踊公演のためのホール・大会議室の整備
- 3 文化伝承事業に係る人材育成事業の継続

これらにつきましては、多くのお客様を迎えるためには、必要不可欠なものと認識しているところです。

5年後に迫った公開に向け、引き続き整備事業の推進に特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年8月1日

「アイヌ政策を推進する議員の会」

会長 今津 寛 様

「民族共生の象徴となる空間」整備による

白老町活性化推進会議会長

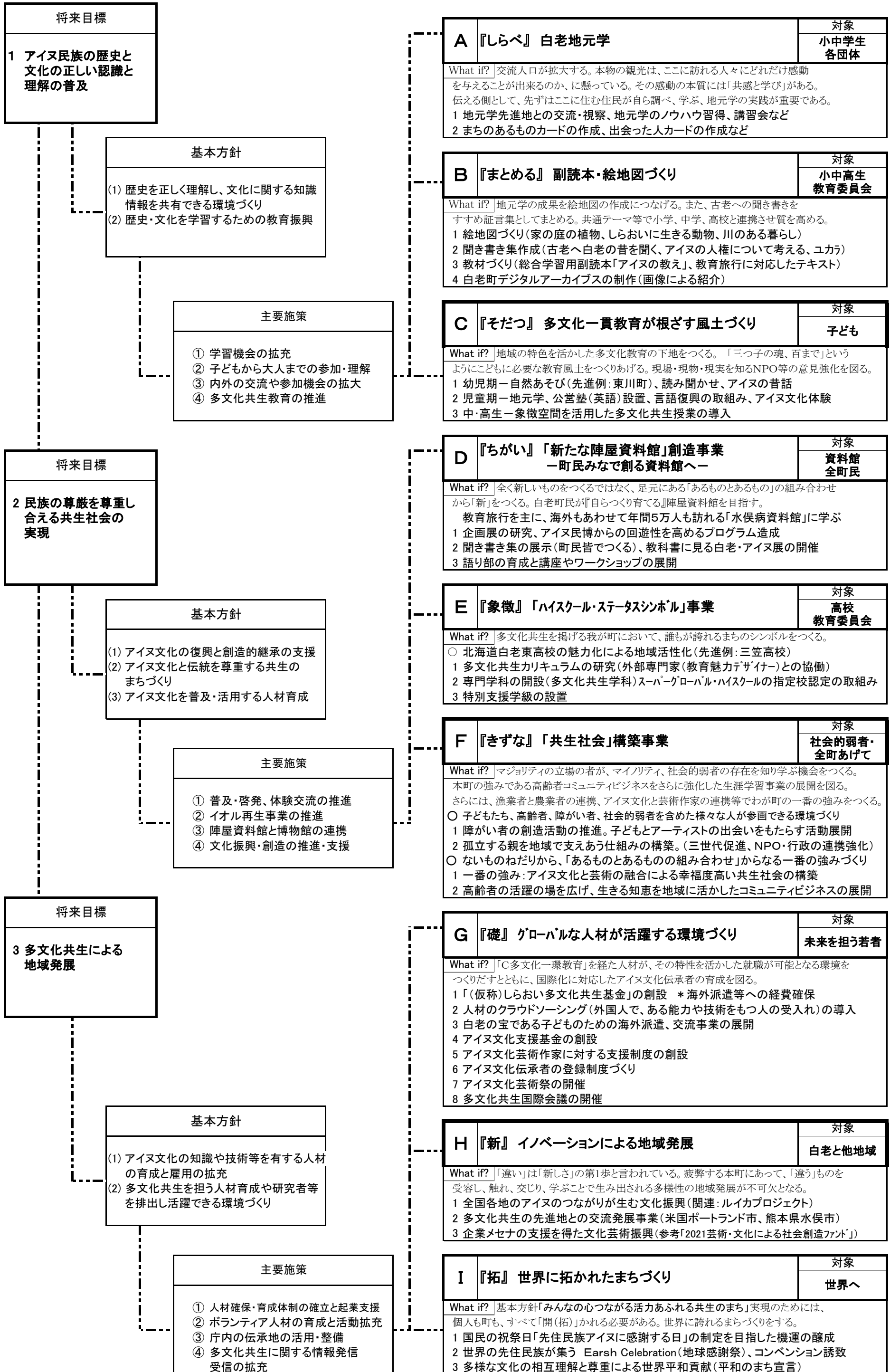
白老町長 戸田 安彦

部会報告

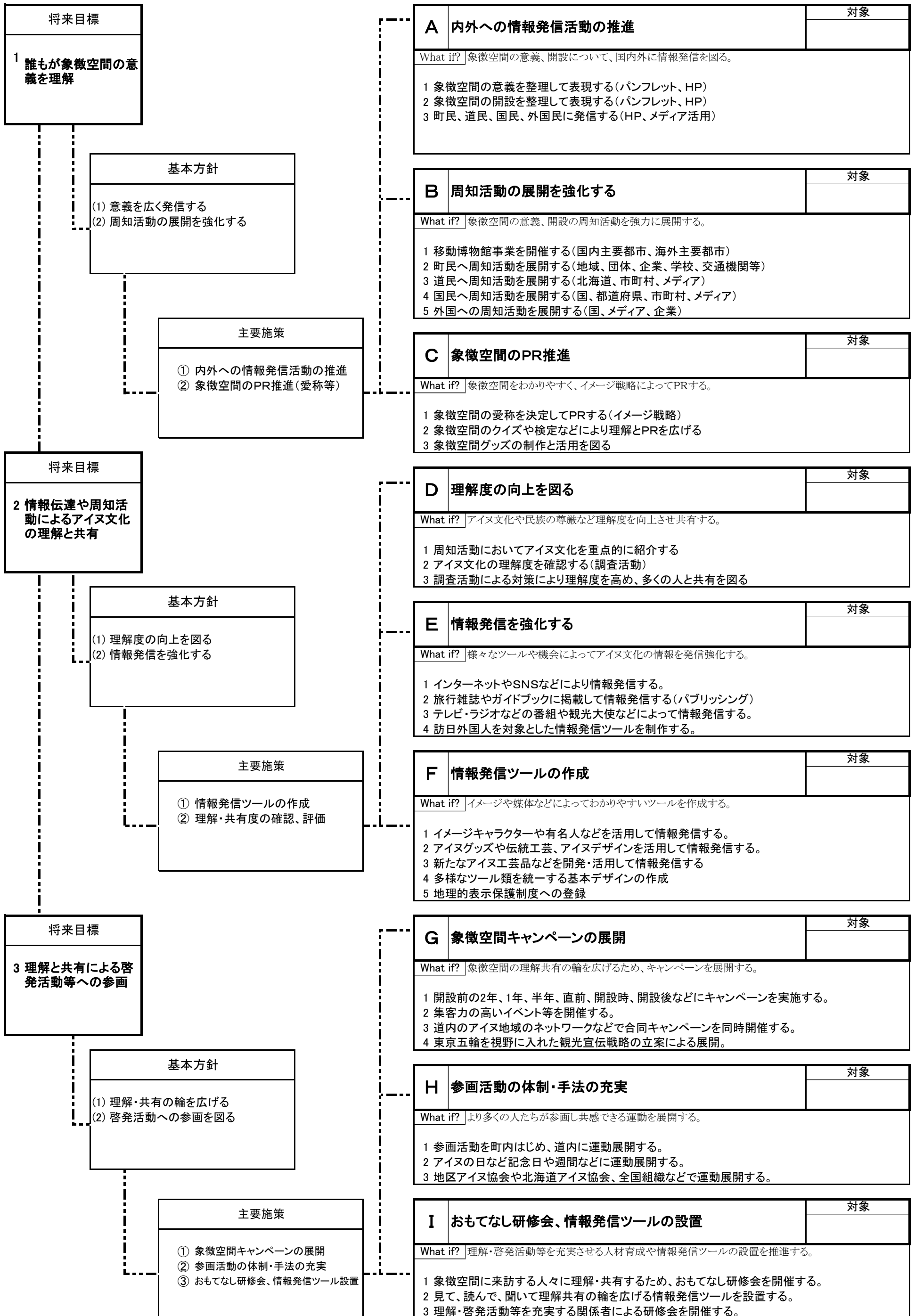
部会名	報告内容
基盤整備部会	<p>1 先進地視察について</p> <p>①視察先について</p> <p>阿寒湖：街並み形成を視察</p> <p>富良野：富良野マルシェ2の「まちなか元気」事業視察</p> <p>②日程について：2泊3日を想定</p> <p>2 次回の開催及び協議内容について</p> <p>①開催日程：7月23日（木）16時から</p> <p>②協議事項：象徴空間周辺整備イメージ図に対する意見集約</p>
教育学習部会	<p>1 先進地視察について</p> <p>①視察先について：阿寒と知床を中心に日程を組み立てる。</p> <p>②日程について：2泊3日を想定</p> <p>2 次回の開催及び協議内容について</p> <p>①開催日程：7月29日（水）17時から</p> <p>②協議事項：教育学習部会オブジェクトツリーにかかる計画案作成</p>
活性化部会	<p>1 先進地視察について：事務局案をもって決定する</p> <p>2 活性化部会における主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にどれだけの人が来ることを想定しているのか。本当に100万人来るのか。それによって取り組みも変わる。 ・宿泊施設の記載に関して、新規宿泊施設の開設や、閉鎖施設の再開とあるが、既存の宿泊施設について何も触れられていない。新しい物よりも、既存の宿泊施設をどう活かしていくかを盛り込むべきである。 ・項目が多く、今後優先付けが必要になってくるのでは。 ・より多くの人に来てもらうためには、事前の宣伝広告が大切になる。 ・豊富な食材を全国に広める。 ・交通機関（電車等）の増便が必要。 ・四季彩街道を通年通行にすべき。 ・「先住民族アイヌに感謝する日」の制定などは、今すぐ取り組むべき。 <p>3 次回の開催及び協議内容について</p> <p>①開催日程：8月初旬を予定する</p> <p>②協議事項：今回示されたツリーとこれまでの部会の議論を踏まえながら計画の肉付けをしていく。</p>

<p>情報部会</p>	<p>1 先進地視察について：教育学習部会と連携しながら進めていく。</p> <p>2 情報部会における主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現段階では、既存のものを活用し、広報・フェイスブック・HP等で発信していく。 ・年配の方には、広報と同時配布ではなく、個別に町内回覧しないと見ない。 ・「象徴空間」という言葉ではイメージがわからないので、建物のイメージ写真があれば、もっと興味を持つと思う。 ⇒来年度、公園の基本計画が出来るので、目で見えるチラシやポスターを予算組して作成したい。 ・アイヌ文化でおもてなし、という意味では、社台～虎杖浜までをアイヌ文化でデザインした町にするのも良いのでは。 ・例えば、役場や町の施設名にアイヌ語の名称を付けたり、町民に馴染ませたら良いのでは。 ・小さいときから取り入れて、聞きなれることで、吸収しやすい。アイヌ文化に反対の人は、国立博物館も反対という事になるので、その人達をいかに理解させるのが役割。 ・年齢別に認知度が違うので、小さい子にグッズを配布し、興味を持たせる。 <p>3 次回の開催及び協議内容について</p> <p>①開催日程及び協議事項：今後、月に1～2回は、部会を開催する。 その他、随時、個別にでも話しを受ける</p>
-------------	--

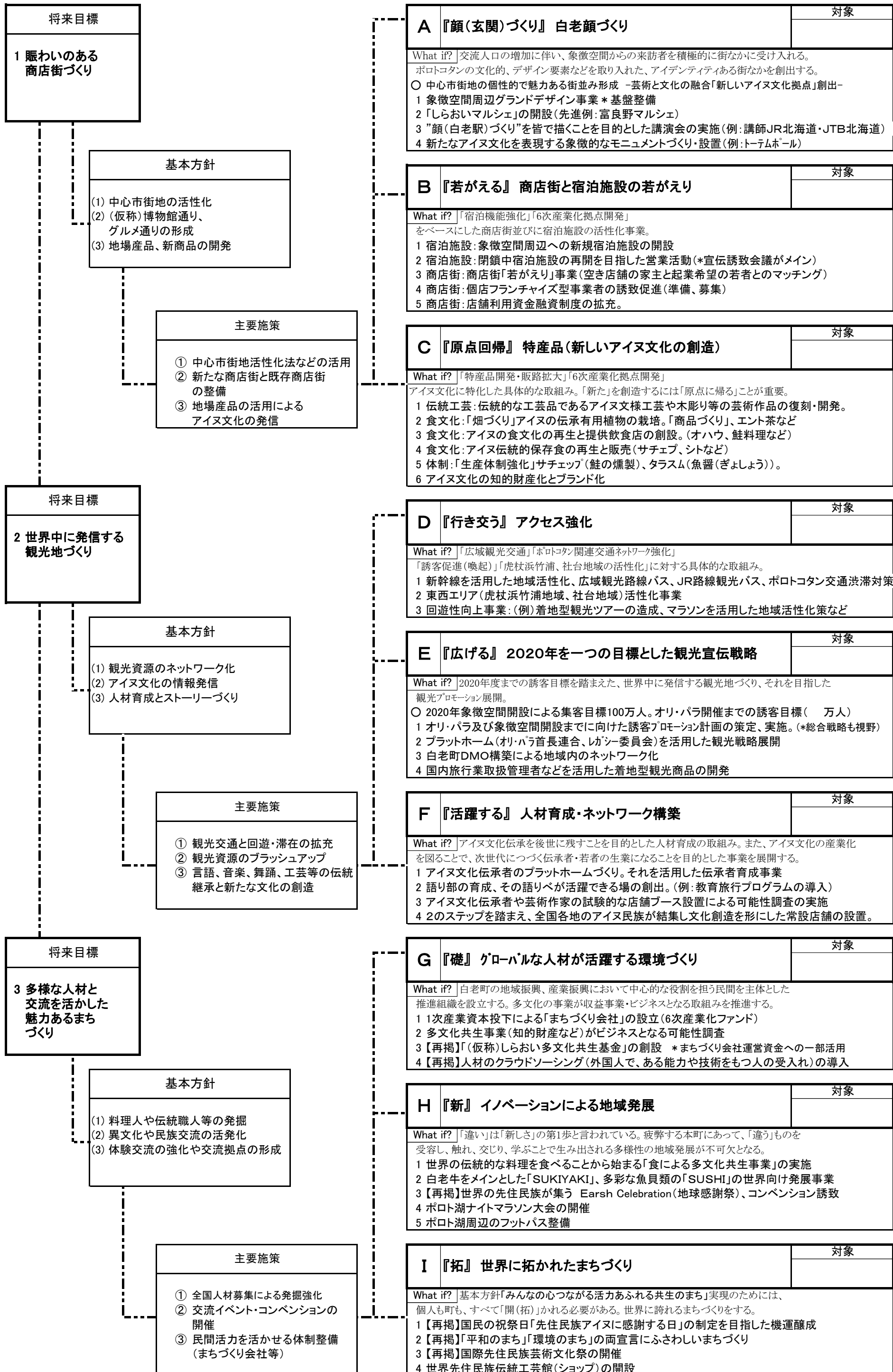
Object Tree(教育部会)



Object Tree (情報部会)



Object Tree(活性化部会)



Object Tree(基盤整備部会)

